

今回、PTAの父親部を取材しました。家庭の中で自然に男女がともに力をあわせていくことは、たくさんあります。「家でやっていることを、PTAでもやろうよ。」と25年前から呼びかけ活動を開始した津留小学校。昭和から平成と時代が変わっていくなかで、その活動は受け継がれてきました。そして平成2年に発足した戸次中学校での活動の話を聞き、それぞれの取り組みを紹介します。

今を知り
リポート



まかせました!

なぜ父親部を作ったのですか

現在、父親部は珍しくありませんが、当時大分市では例がなく、なぜ父親部なのかと驚かれました。津留小PTAでは、昭和55年当時の役員の方々が「PTAは父親と母親が共に参加して、両方の意見を反映させてこそ本物になる」と考え、各クラスの父親の代表で懇談会を持ちました。その時、父親も出る場所があれば参加しやすいという意見が多く、父親部を作りました。最初は有志の方で構成され、当時開校25周年行事もあり、「力仕事は任せとけ」とかなり活躍して頂いた様です。その他には、夜間のバトロール懇談会等の活動をしていました。

今はどうですか

役員は各地区から2名出ています。家庭や地域の問題も多様化し、役員の継続も困難な状況にあります。父親部も役員の方が、無理しないで続けられる活動内容になってきています。

今後について

父親もPTAに参加する事により、学校や子どもを見る角度や会話がかわってくるし、子どもの事を考える時間も増えます。仕事一筋で働く時代ではなくて来ています。入学式、卒業式に父親の姿も多く見られる様になりました。父親の参加する場所があるので、もっと沢山の方に関わって欲しいです。これからPTAで終わるのではなくOB会ができていくといいと思います。

父親部発信基地

津留小PTA

会員数 494名
生徒数 601名
父親部発足 昭和55年

◆活動内容◆

校区内バトロール
ミニバレーボール大会
地区懇談会
運動会協力
バザー協力
まつり津留協力



大野川河下り大会にて

父親部の発足はいつですか

平成2年におやじの会として各クラス1名、計12名の会員で発足しました。現在は、自由参加で全会員に呼びかけ、今年度は26名で活動しています。会員の中には、初めての方から小学校以来8年続けている方までいらっしゃいます。

活動のPRを

PTAは母親が中心に活動していますが、近年この校区でも共働きも増え、又子育てに関心を持つ父親も多く、ともにPTA行事に参加するようになりました。案内状をPTAの会員に出すと世代にとられず出席してくれます。学校を離れた地域活動の参画の場でも、PTAを通して培った人脈がおおいに生かされます。父親同士の話し合いや活動が自分自身の成長の場となり、子どもへの接し方、問題解決の仕方が変わってきます。各行事を楽しみながら行っています。小中合同の父親部のOB会があり、子供が卒業してもつながりがもてます。

男女共同参画社会について

男女は平等でなければならぬという考えのもとで、社会や職場を変えていかなければと思いますが、よく考えて行動しなければ、父親を軽視すると言ったことも出てくるのではないのでしょうか。男女共同参画社会をめざしていくためには、いろいろな方法があると思いますが、男女それぞれが互いの立場を理解し尊重しながらすすめていくのがよいのではないのでしょうか。

楽しみながら活動

戸次中PTA

会員数 367名
生徒数 413名
父親部発足 平成2年

◆活動内容◆

ふれあいPTA
校外指導
地区懇談会
父親のための生涯学習講座
いかだ下り
校内除草